

## 沖縄シーサーラウンド

H28.11.18 in 沖縄県立武道館



沖縄県での開催は4回目となる沖縄シーサーラウンド！前日より開催されていた九州学校体育研究発表大会沖縄大会が午前中で終了し、引き続き、午後2時からの開催となりました。11月中旬とは思えないほど暑い日となり他府県から見えた先生方はびっくりされたことでしょう。会場となった県立武道館研修室は、参加者のみなさんの熱気で更に熱く、クーラーを入れるほどでした。佐藤先生による「諸外国のスポーツ事情」についての情報提供や前日より開催された「九州学校体育研究発表大会沖縄大会」をふり返っての意見交換等、あっという間の3時間でした！

### 1 「諸外国のスポーツ事情」について

トピックス1では、「諸外国のスポーツ事情」と題して、桐蔭横浜大学教授の佐藤豊先生より情報提供していただきました。アメリカ、イギリス、ドイツ、台湾など、世界各地を視察された経験から、各国の体育授業の様子やスポーツに対する考え方等を中心にお話がありました。

日本の学習指導要領のように教える内容を細かく明確に示しているものは、他の国にはないとのことでした。教員養成の仕組みもアメリカのある州では、大学卒業までの教育実習期間が長く、その期間中に自分の就職先の学校が振り分けられるといったプロ野球のドラフト制度のようなシステムになっているなど、日本の教員採用制度とはずいぶん違っていることがわかりました。

また、韓国や台湾などの国では、英語圏で開発された教材を取り入れるスピードが速く、日本も見習うべき点があることを知ることができました。

情報提供後の質疑も活発に行われ、日本の学校体育のよさを知ると共に諸外国のよさも知ることができました。



### 2 九州学校体育研究発表大会をふり返って

小休止をはさんだ後半は、「九州学校体育研究発表大会をふり返って」と題して、小・中・高等学校の各校種に分かれて、各授業会場の授業研究会では質問できなかったことや確認したかったことをグループ協議として意見交換を行いました。どの校種も活発に意見交換が行われ時間が足りないくらいでした。

また、協議内容を全体グループごとに発表してもらい、各校種の授業の様子や各校種が抱える課題や全校種に共通する課題等を知ることができました。

協議内容の発表を受けて佐藤先生からは、小学校から高校までを見通した「思考・判断」の評価についてまとめていただき、どの校種もそれぞれの段階でどこまで思考・判断を育てればよいのかを確認することができました。



### 3 おわりに

今回は、「九州学校体育研究発表大会沖縄大会」に終了後の開催となり、沖縄県の教員や教育関係者はもちろん、大学教授や九州各県の指導主事、大分県の体育専科教員、大学生など総勢50名という予想以上の人数で開催でき、大変学びの多い研究会となりました。

今回は、学習指導要領や授業内容についての話だけでなく、世界の学校体育やスポーツ事情について聞くことで、視野が広がると共に、世界における日本の学校体育の位置や進むべき方向性等を確認することができました。

今回参加された研究会の先生方、沖縄県はもちろん、九州各県から全国の学校体育を共に盛り上げていけるよう、引き続き頑張っていきたいと感じることができた「おきなわシーサーラウンド」でした。